



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月10日

上場会社名 ナラサキ産業株式会社 上場取引所 東 札
 コード番号 8085 URL <https://www.narasaki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 中村 克久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営管理本部副本部長 (氏名) 長谷川 昌史 TEL 03-6732-7350
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	86,061	8.7	1,735	3.7	1,875	5.6	1,209	3.2
2025年3月期第3四半期	79,142	4.9	1,673	△4.4	1,776	△3.6	1,172	△3.6

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,669百万円 (79.6%) 2025年3月期第3四半期 929百万円 (△38.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	236.91	—
2025年3月期第3四半期	231.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	63,395	27,892	43.1
2025年3月期	56,479	26,700	46.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 27,294百万円 2025年3月期 26,137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	120.00	120.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	130.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,000	4.9	3,500	14.3	3,500	11.8	2,500	11.6	494.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社、除外 ー社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	5,325,600株	2025年3月期	5,325,600株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	201,435株	2025年3月期	253,935株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	5,105,976株	2025年3月期3Q	5,055,173株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2025年5月13日に公表しました業績予想に変更はございません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などにより、緩やかな回復基調で推移しました。一方、継続的な物価上昇や米国の通商政策の影響などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは持続的成長と更なる企業価値向上の実現に向けて、2026年度を最終年度とする中期経営計画“NSクリエーション2026”を推進してまいりました。中期経営計画の2年目となる当第3四半期連結累計期間におきましても、成長戦略として事業ポートフォリオ分析に基づき事業の選択と集中を進めるとともに、グループ総合力の発揮、収益力強化と生産性向上などに取り組みました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は860億61百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は17億35百万円（前年同期比3.7%増）、経常利益は18億75百万円（前年同期比5.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億9百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

セグメント別の概況は、以下のとおりであります。

(電機関連事業)

建築設備分野では、データセンターなどのインフラ投資の拡大により、制御機器や空調機器の販売が堅調に推移しました。生産設備分野では、生成AI関連の需要はやや足踏み状態となりましたが、レーザ加工機の輸出案件が順調に進捗しました。

以上の結果、売上高は216億86百万円（前年同期比10.2%増）、セグメント利益は7億57百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

(機械関連事業)

農業施設分野では流通合理化設備、産業機械分野では水産関連設備や環境関連設備などへの投資が活発であり、両分野において受注が順調に推移しました。加えて、年度後半に入り機械設備の納入が進捗しました。

以上の結果、売上高は51億87百万円（前年同期比9.4%増）、セグメント利益は79百万円（前年同期はセグメント損失17百万円）となりました。

(建設・エネルギー関連事業)

建材分野では、建築関連において人手不足による工事遅延や設計変更の影響を受けた一方、北海道新幹線工事のセメント・生コンや土木資材などの出荷が好調に推移しました。建設機械分野では、コンクリート関連機械や道路関連機械の販売が堅調でした。エネルギー分野では、価格高騰に伴う需要減少の影響を受け、配送の効率化などの施策に取り組んだものの、ガソリンや軽油などの販売量確保に苦戦を強いられました。

以上の結果、売上高は468億64百万円（前年同期比10.9%増）、セグメント利益は5億70百万円（前年同期比13.0%減）となりました。

(海運関連事業)

連結子会社のナラサキスタックス(株)では、苫小牧における鋼材や石炭、バイオマス燃料等の取扱いが好調に推移しました。人員不足や物価高などの影響により、荷動きは全体的に低調となりましたが、新規貨物の獲得や業務効率化に努めました。

以上の結果、売上高は123億22百万円（前年同期比1.2%減）、セグメント利益は3億29百万円（前年同期比40.9%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は633億95百万円となり、前連結会計年度末に比べて69億15百万円増加しました。総資産の内訳は、流動資産444億45百万円、固定資産189億50百万円であります。総資産の主な増加要因は、電子記録債権の増加42億77百万円、有形固定資産の増加9億60百万円であります。

負債は355億3百万円となり、前連結会計年度末に比べて57億24百万円増加しました。負債の内訳は、流動負債306億3百万円、固定負債48億99百万円であります。負債の主な増加要因は、電子記録債務の増加49億86百万円あります。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益12億9百万円などにより、前連結会計年度末に比べて11億91百万円増加し、278億92百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は43.1%（前連結会計年度末は46.3%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年5月13日の「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,637	12,101
受取手形、売掛金及び契約資産	19,196	20,098
電子記録債権	3,499	7,777
商品及び製品	1,795	1,776
仕掛品	160	625
原材料及び貯蔵品	61	64
その他	1,655	2,005
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	39,001	44,445
固定資産		
有形固定資産		
土地	4,527	4,506
その他(純額)	4,294	5,275
有形固定資産合計	8,821	9,782
無形固定資産		
	132	107
投資その他の資産		
その他	8,534	9,085
貸倒引当金	△11	△25
投資その他の資産合計	8,523	9,060
固定資産合計	17,478	18,950
資産合計	56,479	63,395

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,631	13,631
電子記録債務	6,977	11,964
短期借入金	1,200	1,500
1年内返済予定の長期借入金	179	246
未払法人税等	509	44
賞与引当金	492	141
その他	2,324	3,075
流動負債合計	25,314	30,603
固定負債		
長期借入金	230	587
特別修繕引当金	94	81
退職給付に係る負債	1,040	942
その他	3,098	3,287
固定負債合計	4,464	4,899
負債合計	29,778	35,503
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354	2,354
資本剰余金	1,328	1,369
利益剰余金	20,496	21,094
自己株式	△471	△372
株主資本合計	23,708	24,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,447	1,955
繰延ヘッジ損益	△1	2
為替換算調整勘定	145	118
退職給付に係る調整累計額	838	771
その他の包括利益累計額合計	2,429	2,848
非支配株主持分	562	597
純資産合計	26,700	27,892
負債純資産合計	56,479	63,395

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	79,142	86,061
売上原価	70,877	77,054
売上総利益	8,264	9,006
販売費及び一般管理費	6,591	7,271
営業利益	1,673	1,735
営業外収益		
受取利息	2	7
受取配当金	109	127
持分法による投資利益	14	9
その他	33	59
営業外収益合計	160	204
営業外費用		
支払利息	33	36
その他	23	28
営業外費用合計	57	64
経常利益	1,776	1,875
特別利益		
固定資産売却益	2	2
投資有価証券売却益	23	—
特別利益合計	25	2
特別損失		
固定資産処分損	8	7
減損損失	3	—
貸借契約解約損	28	—
特別損失合計	40	7
税金等調整前四半期純利益	1,762	1,870
法人税、住民税及び事業税	392	412
法人税等調整額	170	217
法人税等合計	563	630
四半期純利益	1,199	1,240
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,172	1,209

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,199	1,240
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△200	517
繰延ヘッジ損益	2	4
為替換算調整勘定	—	△26
退職給付に係る調整額	△71	△66
その他の包括利益合計	△269	429
四半期包括利益	929	1,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	901	1,628
非支配株主に係る四半期包括利益	27	40

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(棚卸資産の評価方法の変更)

棚卸資産のうち標準電機品の評価方法について、従来、移動平均法による原価法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間の期首より、総平均法による原価法へ変更しております。

また、棚卸資産のうち石油製品の評価方法について、従来、最終仕入原価法による原価法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間の期首より、総平均法による原価法へ変更しております。

これらの評価方法の変更は、基幹システムの刷新を契機に、期間損益計算をより迅速かつ適正に行うことを目的としたものであります。なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建設・ エネルギー 関連事業	海運 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高							
顧客との契約から生じる収益	19,683	4,741	42,233	12,474	79,133	—	79,133
その他の収益	—	—	9	—	9	—	9
外部顧客への売上高	19,683	4,741	42,242	12,474	79,142	—	79,142
セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	—	407	3	421	△421	—
計	19,693	4,741	42,649	12,478	79,563	△421	79,142
セグメント利益又は セグメント損失(△)	818	△17	655	233	1,690	△17	1,673

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△9百万円、セグメント間取引消去額△8百万円が含まれております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建設・ エネルギー 関連事業	海運 関連事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高							
顧客との契約から生じ る収益	21,686	5,187	46,855	12,322	86,051	—	86,051
その他の収益	—	—	9	—	9	—	9
外部顧客への売上高	21,686	5,187	46,864	12,322	86,061	—	86,061
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	—	326	8	340	△340	—
計	21,693	5,187	47,190	12,330	86,401	△340	86,061
セグメント利益	757	79	570	329	1,737	△1	1,735

(注) 1 セグメント利益の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△0百万円、セグメント間取引消去額△1百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	484百万円	548百万円